

＼話題がいっぱい／
なかゆくい
市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



10/14 戦没者追悼式～平和への誓い～

浦添城跡内にある浦和の塔前で、第79回浦添市戦没者追悼式が行われました。式典には戦没者遺族をはじめ、市議会、自治会関係者、市内中学生で構成されるピースメッセンジャーなど約90名が参列し、先の大戦で亡くなられた方々を追悼しました。

浦添市遺族会の宮城会長は「戦争を決して風化させてはならない。その語り部として努力していくことを誓います」と述べ、松本市長は「戦争の苦しみや恐ろしさを決して風化させてはならず、次の世代に語り継ぐことが今を生きる私たちの責務だと思います」と平和への思いを語りました。参加者全員で戦没者への哀悼と恒久平和への願いを新たにしました。



楽しく学ぶ異文化交流会 令和7年度の様子

異文化交流会は、児童生徒が外国語指導助手(AET)と交流する場を持つことで異文化理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る態度を養うことを目的として、市内全小中学校で年1回開催されています。

今年も世界各国から来たAETの方々が各学校を訪問し、AET自身の出身国や留学先(アメリカ、フィリピン、オーストラリア、南アフリカ、ジャマイカなど)について紹介しています。

児童生徒は、その国の文化や生活について英語で質問をしたり、クイズやゲームなどの遊びを交えながら学んだりと、日本と異なる考え方や文化について理解を深め、協調性を育んでいます。



9/27 県立図書館でルーツ調査を体験

本市南米研修生の若林 稲福 バレリアさん(ペルー)、勢理客 宮城 フェルナンダさん(ブラジル)が、沖縄県立図書館で行われたルーツ調査のワークショップに参加しました。本イベントはJOCA沖縄が運営する「うちなーんちゅーたー養成講座」のひとつで、海外への移民の長い歴史がある沖縄で個人がどのようにルーツ調査を進めていくのかを実践的に学び、沖縄移民への理解を深めることを目的に行われています。

バレリアさんは「戦争中に多くの記憶や情報が失われたが、次世代へ歴史を語り継ごうと資料収集に努める県の活動に感動した」、フェルナンダさんは「私たちだけで自分のルーツを辿るのは難しいが、県立図書館のシステムを活用しルーツ調査をできることが知れて良い機会になった」と話しました。



9/24 浦添市消防団のチームワークは100%

9月24日に沖縄県中部地区の消防団による操法大会が行われ、浦添市は小型ポンプ操法の部に1チームが参加しました。大会では、火災現場を想定した動作の正確さやスピード、チームの連携などが競われ、日々の訓練の成果を十分に発揮しました。

競技に参加した狩俣哲也さんは、「今回は練習時間を充分に確保できなかったが、浦添市消防団のチームワークはばっちりでした。上位には届かなかったが、次回の大会では入賞を狙います」と振り返りました。また又吉正信団長は、「20代～70代まで男女問わず、幅広い世代が活躍しています。現在、団員を募集中!興味がある方はぜひ参加してほしいです」と話していました。



9/29 長きに渡る交通安全普及活動が評価

交通安全の推進に著しく貢献した個人や団体を内閣特命担当大臣が表彰する「交通安全功労者表彰」を受賞した比嘉初子さんが、市長を表敬しました。比嘉さんは、昭和57年から現在まで、沢山の交通安全活動を行っています。また、市内の小学校やこども園で行われる交通安全教室での教育活動や春の交通安全運動出発式への参加、自治会内での立哨活動方法の指導などを行い、地域の交通安全啓発活動に努めています。受賞について「これは私一人の賞ではなく、これまで協力してくれた家族や地域の皆さんと共にいただいた賞だと思います。私の体力が続く限り、これからも協力していきたいです」と今後も変わらぬ活動への意欲を述べました。



9/25 姉妹で切磋琢磨。優勝・準優勝報告

7月19日・20日に東京で行われたカラテドリームフェスティバル2025全国大会で、組手(小学6年女子軽量級)で優勝した姉の吉田にこさん、組手(小学1年女子軽量級)と型で準優勝した妹の吉田もこさんの姉妹が市長表敬に訪れました。

指導者であり父である吉田富和さんからの大会報告の後、にこさんは「2年ぶりに組手で優勝できて嬉しかった。型は3位でした」、もこさんは「来年は組手と型どちらも優勝したい」と大会の感想を話しました。松本市長は「優勝、準優勝おめでとうございます。今回うまくできなかったところを次に活かして、よく食べて、勉強も頑張ってください」とお祝いと激励の言葉を送りました。



9/8 “てだこ桑の日フェア”開催!!

市役所1階中庭にて、「てだこ桑の日フェア」が開催されました。この日は「く(9)・わ(8)」の語呂合わせにちなみ、市の特産品である桑の魅力を発信するイベントを行いました。桑の実や葉を使った黒糖や焼き菓子など魅力的な商品が並び、多くの来場者で賑わいました。

開会挨拶で松本市長は、「今年はこれまで以上にさまざまな商品がラインナップされています。浦添市の商品であります桑を使った商品を購入いただき、桑の実・桑の葉ライフをみなさん楽しんでいただきたいと思います」と述べました。司会のナガハマヒロキさんと各ブースを訪問し、出店者や来場者と積極的に交流しながら商品の魅力を紹介。笑顔と活気あふれる1日となりました。